

技術提案募集：斜張橋等ケーブルの点検技術

求める技術	概要	
斜張橋等のケーブルの点検技術	現状 ・ 問題点	<ul style="list-style-type: none">・ケーブルの健全性を確認するためには、腐食による内部鋼材の減肉や破断の有無を点検する必要がある。渦流探傷の技術を用いた自走式ロボット等による点検は高額であるため、近接目視により保護管表面のひび割れや錆汁の有無を確認している。しかし、近接目視にもロープアクセスの技術が必要なため他の部材点検に比べて割高であるうえ、天候による影響が大きく点検日数の確定が難しい。・またケーブル定着部は密閉されており、点検のために防水カバー等を外すと漏水の原因となるため、定着部の内部の鋼材を直接視認して点検することが困難である。
	ニーズ (課題・条件等)	<ul style="list-style-type: none">・ケーブルの内部鋼材の健全性や、視認の困難な定着部内部の状況が確認できる廉価な点検技術を求める。